



# ありがとう!! 阿武山中中学校

# 希望

平成23年  
5月2日(月)  
大船渡市立第一中学校  
学校新聞「希望」  
第6号  
生徒有志会

## 箱いばいの心

4月26日に、大阪府高槻(たかつき)市立阿武山(あぶやま)中学校から、15箱ものダンボール箱がおくられて来ました。中には、阿武山中学校の生徒のみなさんと、保護者の方々から寄せられた、文房具や本などがたくさん入っていました。これらのおくりものは、阿武山中中学校の3年、山口警志也さんのお父さん、英治さんの呼びかけがきっかけだったそうです。英治さんは、3月、大震災のボランティアとして大船渡市に来ていたでいていました。そこで私たちの学校新聞「希望」の、第3号を、目にしたそうです。第3

号には、大震災で被災された、釜石東中学校のみなさんや、一中学生に、寄付する文房具を集めているという記事がのっていました。それを読んで英治さんは、大阪に帰って、息多、警志也さんの通う、阿武山中中学校に出向き、「私たちもできること

をしよつ」と提案したところ、生徒会と保護者の方々が一つとなつて、文房具や本を家庭から集めて下さいました。

15箱のダンボール箱の中には、  
●本(6箱)  
●ノート(3箱)  
●ぬいぐるみ(1箱)  
●筆記用具(4箱)  
●その他(1箱)  
などが入っていました。また、箱いばいには、被災地を思う気持ちを集めていました。私たちは、改めて、人と人のつながりがとても大事だと思いました。そして、遠くから文房具などの物資を

新一年生のみなさん、入学おめでとうになります。今年の入学式は、予定通り十七日曜日に、行われましました。  
新一年生  
のみなさん、私たちが二、三年生よりも大きなお礼状を、その中に、中学校へ

学という期待もあ、てて下さいます。  
私たちが一年生、何か、少しでも後輩の川越橋や新出の、カニを食べてほしいと思、ています。  
今年、は、

集めて、寄付してくださった、阿武山中学校のみなさんに、とても感謝しています。阿武山中から、  
ダンボール15箱分のたくさん善意とともに、阿武山中中学校生徒会執行部の皆さんから応援メッセージが届きましたのでご紹介します。  
「いつも幸せな生活を送れるという希望をもつて頑張ってください。神は乗り越えられる力のある人だけに試練を与えます」生徒会長 入谷菜央さん

## 阿武山中から、 応援メッセージ

感謝しています。阿武山中学校の皆さん、ありがとうございました。ごさいました。  
「苦しみはいつか笑顔に変わるを信じて、東北地方みなさんで力を合わせて乗り越えて下さい。副会長 白井優希さん  
「僕らの学校や他の学校、日本全体が東北を応援しています!!一緒に頑張ります!!」3学年代表 多田桐音さん  
「岩手と大阪は何百キロとはなれているけれど、日本一つになつて乗り越えていきましょ。がんばろう日本!がんばろう東北!がんばろう大船渡!がんばろう中学生。おたがいがんばっていきましょう。2学年代表 勝山杜都さん  
「あきらめたりしないで試合終了だよ。あきらめないで元気でいて下さい。3学年書記 山

田幸弘さん  
「阪神淡路大震災で本だなの下敷きになつても負けた、ぼくのおいちゃんのパワーみたいにくじけず、めげず一緒に頑張りたい。2学年書記 小林勇一郎さん  
「一つ一つ乗り越えて、One for all、All for one」副会長 田仲みなみさん  
阿武山中の皆さん、温かいメッセージありがとうございます。  
私達中学生も力を合わせてがんばります。

